

氏名	森戸 千浩	学校名	栃木県 宇都宮市立宮の原中学校
担当教科等	英語	対象学年（人数）	第3学年（30名）
実践年月日もしくは期間（時数）	2019年9月～2020年1月（10時間）		

【実践概要】

1. 実践する教科・領域：英語/学活/道徳/総合		
2. 単元(活動)名：日本の外に興味を持とう～想像する・行動する～		
3. 授業テーマ(タイトル)と単元目標 授業テーマ：世界を好きになる国際理解教育～想像する・行動する～ 単元目標： <ul style="list-style-type: none"> ・ ネパールの人と触れ合う機会を与えることで、国際理解を深める。 ・ 世界の一員であるという自覚をもち、世界のために自分にできることを考えることができる。 関連する学習指導要領上の目標： 道徳：「世界の中の日本人としての自覚をもち、国際的視野に立って、世界の平和と人類の幸福に貢献する。」（『中学校学習指導要領』第3章道徳、第3 道徳の内容 4(10)） 外国語：「初歩的な英語を用いて自分の考えなどを話すことができるようになる。」（『中学校学習指導要領』第2章第9節外国語、第2 外国語科の目標及び内容 1(2)）		
4. 単元の 評価規準	①知識及び技能	ネパールについての基本的な情報を理解したうえで、簡単な英語やネパール語を用いてネパールの子どもたちと交流することができる。
	②思考力、判断力、表現力等	ネパールをはじめとする世界の現状を知り、日本との共通点や相違点に気づき、それぞれの良さや課題について表現することができる。 途上国の生活や文化を多面的にとらえ、「かわいそう」という見方だけでなく、幸せの価値基準が人によって異なるということを理解することができる。
	③学びに向かう力、人間性等	ネパールや外国に興味を持ち、理解を深めようとする。 話し合い活動において、自分の意見を積極的に述べ、相手の意見も肯定的に受け入れることができる。
5. 単元設定の理由・単元の意義（児童/生徒観、教材観、指導観）	【単元設定の理由】 この授業では、ネパールのことに限らず広く世界のことを扱っていく。生徒の中で、外国というと先進国のイメージが強い。事前に生徒に発展途上国についてのイメージを尋ねたところ、「虫を食べているのではないか」「裸足で生活しているのではないか」というどこか否定的で偏った解答が多く見られた。そこで、事実を伝え、視野を広げる取り組みをしたいと考えた。 【単元の意義】 本単元を通して、「相手のことを思いやる想像力」、「問題を解決するために何が出来るか考え、動こうとする行動力」を育てられると考えた。また、学習過程において、相手のことを知る大切さや、幸せの価値基準は人によって異なるということに気付けるのではないかと思います、本授業を計画した。 【児童／生徒観】 本学級の生徒は、明るく、男女の仲もよく、クラスで1つの目標に向かって一生懸命取り組むことができる生徒が多い。3年生ということで、自分の将来や進路についても考え始め、「外国で働きたい」「日本の文化を紹介する仕事がしたい」など、外国とつながりたいという意欲のある生徒たちである。	


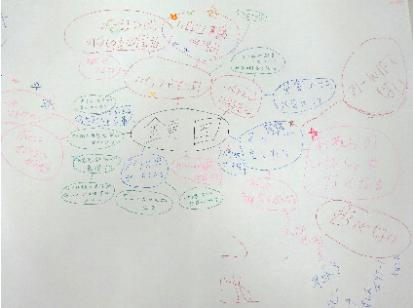
【指導観】

生徒にとって身近な存在である教師が、実際にネパールに行った経験を交え、写真や動画などの現地で得た教材を生かして授業を行っていくことでネパールを身近な国ととらえられるようにしていきたい。さらに、日本とネパールの子どもたちが直接交流をもてるような場の設定をすることで、遠い国のことではなく自分の知っている友達がいる国としてとらえられるようにしたい。また、ネパールのことだけでなく、世界のことについても学習し、自分のイメージや思い込みにとらわれず本当のことを知る大切さや、異文化を理解し、自分とは違った他者を受け入れることの大切さに気付かせたい。

6. 単元計画 (全 10 時間)				
時	小単元名	学習のねらい	学習活動	資料など
1	総合 「ネパールに行ってきたよ！」	世界には様々な暮らしがあることを知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ パワーポイントでネパールについて、基本的なことを知る。  <p>【ネパールを紹介するパワーポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 振り返りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ パワーポイント ・ ネパールで購入したもの（クルタ、チュラ等） <ul style="list-style-type: none"> ・ 振り返りシート（宮の原パスポート）
2	英語 「I met Nepali children.」	外国に住む、自分と同世代の人々がどんな暮らしをしているか知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ ネパールと日本の学校の違いや共通点について話し合う。  <p>【話し合いの様子】</p>  <p>【話し合いの様子】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシート①【資料1】

			<ul style="list-style-type: none"> ・ うちわを見ながらネパールの子どもたちがどんなことを考えているのか知る。  <p>【ネパールの生徒が作成したうちわ】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ うちわ ・ 振り返りシート
3 本時	道徳 「ネパールってこんなところ」	相手の心情を考え、異文化の人々とどうかかわっていくか考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・ ネパールの「手で食事をする」文化について考える。 ・ 異文化の人と関わるときに大切にしたいことを考える。  <p>【話し合いの様子】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 写真 ・ ワークシート②【資料2】 ・ ロールプレイ台本【資料3】 ・ 振り返りシート
4	学活 「ワールドクイズ」	ネパール以外の様々な国の文化を知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 世界の国々とのつながり、その影響をクイズで学ぶ。  <p>【世界の国々とのつながりのクイズカード】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「世界がもし100人の村だったら」を題材として、ワークショップを行い、世界の現状について体験的に学び、世界について興味をもつ。  <p>【ペットボトルのラベルが読めないことを体験させ、字が読めないことについて考えさせた】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ クイズ(NIED・国際理解センター教材参照) ・ ワークショップ版世界がもし100人の村だったら第5版<役割カード等>(開発教育協会 DEAR) ・ 振り返りシート

<p>5</p>	<p>学活 「SDGs から見る日本とネパール」</p>	<p>SDGs について知り、どの国にも課題と良さがあることを知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> SDGs について説明を聞く。 ネパールの写真を見ながら SDGs のどの項目と関連があるかを考える。 日本のニュース記事を見ながら SDGs のどの項目と関連があるかを考える。  <p>【SDGs とニュースの関連性を考えている様子】</p>	<ul style="list-style-type: none"> パワーポイント（国連広報センター） SDGs カード <ul style="list-style-type: none"> 振り返りシート
<p>6</p>	<p>学活 「SDGs から見る世界」</p>	<p>今、世界で起きている問題について考え、どのような支援の形があるかを知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 負の連鎖カード（JICA 教材）を使い、なぜ貧困が止められないのかを考える。  <p>【負の連鎖について考えている様子】</p> <ul style="list-style-type: none"> SDGs の中で大切にしたい問題について班で話し合い、ランキングを作る。  <p>【話し合いの様子】</p>  <p>【SDGs カードをランキング順に並べた様子】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 負の連鎖カード（JICA 教材） <ul style="list-style-type: none"> SDGs カード <ul style="list-style-type: none"> 振り返りシート

7	学活 「世界で働く日本人」	自分の夢や目標に向かって働くことの尊さを知る。	<ul style="list-style-type: none"> 自分の人生プランについて考える。 <ul style="list-style-type: none"> ➤ どんな仕事をしているだろう。 ➤ どこに住んでいるだろう。 海外で働く日本人について、イメージをあげる。 ネパールで撮影した JICA 職員へのインタビュー動画を見る。  <p>【JICA 職員のインタビュー動画】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート③【資料4】 インタビュー動画 振り返りシート
8	学活 「私の望む世界」	世界で起こる問題の解決に関わろうとする意識を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> 日本がもし、他国との関わりを失い、鎖国になったら…と考えさせる。  <p>【鎖国ゲーム様子】</p> <ul style="list-style-type: none"> JICA 動画「依存大国日本」の動画を見せ、途上国と日本とのつながりを考える。 今、自分が問題だと思うことをあげる。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート④【資料5】 振り返りシート

7. 本時の展開（3時間目） 本時のねらい：異文化に出会う上で大切なことは何か考える。			
過程・時間	教員の働きかけ ・発問および学習活動・指導形態	指導上の留意点 (支援)	資料 (教材)
導入 (10分)	1. ネパールでの異文化体験について話す。	・ どう感じたかだけでなく、体験を伝えることにとどめて、どんな印象を持つか考えさせる。	・ パワーポイント
展開 (30分)	2. 手で食べる文化についてどう思うか質問する。		
	3. 「手で食べる」ことと「はしで食べる」ことのメリット、デメリットについて考える。	・ グループで話し合い、紙にまとめる。 ・ 友人の班が考えたことを見て回り、印をつける。	・ 模造紙 ・ ペン
	4. ネパールで、現地の人と手でダルバードを味わった経験を伝える。	・ 「私が手で食べる姿を見て現地の人喜んでくれたのはなぜだろう。」と問いかける。	・ ワークシート② 【資料2】
	5. ロールプレイを通して、自分の文化が否定される経験、受け入れられる経験をさせる。	・ 自分の文化が受け入れられるとどう感じるか、体験させる。 ・ 同じ文化でも捉え次第で肯定的にも否定的にもとらえられることを体験させる。	・ ロールプレイ台本 【資料3】
まとめ (10分)	6. 異なる文化・価値観の人と関わるときに大切にしたいことは何か考える。	・ 本時の授業を通して、考えたことを書かせる。 ・ 日本で暮らす外国人も増えていることから、異文化に触れることを身近にとらえられるようにする。	
8. 評価規準に基づく本時の評価方法 ネパールの文化を尊重し、自分たちとは異なる暮らしをする人がいるということを理解しながら、異文化と出会った時にどのようにかわりたいかについて考えられているか、ワークシートを用いて評価する。			
9. 学習方法及び外部との連携 本時の授業を行うにあたり、道徳教育を研究している校内の教諭にアドバイスを求め、発問や授業の進め方について考えた。また、JICA 筑波で行われた研修で、特定非営利活動法人 NIED・国際理解教育センターの方からも指導案についてご指導いただき、「手で食べるメリット、デメリットについて考える」など、グループで話し合いながら進められる学習方法を取り入れた。			
10. 学校内外で国際理解教育・授業実践を広める取組 今回教師海外研修に参加し、経験したことをポスターにまとめ、校内に掲示した。各学年の階に掲示してもらうことで、全校生徒に知ってもらうことはもちろん、多くの先生方にも見ていただけた。 また、私が担当している生徒会活動の中で、物資を集めるなどのボランティア活動を行った。ただ物を集めるだけでなく、生徒会執行部の生徒たちが、諸外国の現状を理解した上で全校生徒に呼びかけることで、多くの生徒からの協力が得られた。			

【自己評価】

11. 苦勞した点	夏休み明け、学校行事や進路指導の忙しい中で時間を作るのが難しかった。また、研修への参加が決まったのが5月ごろだったので、4月当初に決められた年間指導計画を変更しなければならなかった。そのため、元々の計画をあまり動かさずにできるよう、いろいろな教科と関連させながら行った。
12. 改善点	今回は自分の学級を中心とした実践となってしまったが、学年の先生方と指導案を共有し、学校全体で国際理解教育を進めていきたい。また、生徒会活動や委員会活動とも連携させて生徒の自主的な行動を促したい。
13. 成果が出た点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外国に興味を持つ生徒が増えた。「みんなが知らないような国のことも知りたい！」と自主的に調べる生徒も出てきた。 ・ 自分自身の進路や生き方について考える視野の広さを身につけられた。「いつか外国に行ってみたい」という意見にとどまらず、「ネパールの人の話を聞いて、もっといろいろな人と交流したいと思った」や、「青年海外協力隊の話を聞いて、自分の将来やりたいことが見えてきた」といった意見が挙げられた。
14. 学びの軌跡 (児童生徒の反応、感想文、作文、ノートなど)	<p>授業後のアンケートでは、このような回答が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いろいろな国に行ってみたくなった。 ・ 社会の問題に目を向けるようになった。 ・ 英語がもっと話せるようになりたいと思った。 ・ 働き方や生き方について考えるようになった。 ・ ニュースでは知らなかった問題も知ることができた。 ・ 日本の文化を大切にしたいと思った。 ・ 自分も世界のためにできることは自分からしようと思った。 ・ もっと勉強しようと思った。 ・ あまり知られていない国についても知りたくなった。 ・ 他の国の文化に興味をもつようになった。
15. 授業者による自由記述	<p>教師海外研修を通して、私自身が成長したと思う点は3つある。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 国際理解教育を、自信を持って実践できるようになった点 諸外国の課題や良さを、授業の中で、ねらいを明確にして考えさせることができるようになった。 ② 教科の授業の中でも道徳的視点を持って指導できるようになった点 事後授業を進める中で、生徒が考えを深められるように、発問の工夫をした。その成果か、教科の授業の中でも、どうしたら考えが深められるかを意識するようになり、物語の登場人物の心情を考えさせるなど道徳的視点で考えさせられるようになった。 ③ 教員4年目として後輩の先生方への発信ができるようになった点 事後授業の実践の際には、後輩の先生方に声をかけ、実践を広められるようにした。教育実習生が私の取り組みに興味をもってくれたことも成果である。 <p>今後は、国際理解教育の継続と、教員間での発信を更に意識して進めていきたい。最後に、この研修に関わってくれたすべての皆様、私に貴重な機会をありがとうございました。</p>

参考資料：

- ・ 『ワークショップ版 世界がもし100人の村だったら第5版』特定非営利活動法人 開発教育協会(DEAR)
- ・ 『国際理解教育実践事例集—世界を知ろう！考えよう！』JICA 地球ひろば
- ・ 『国連広報センター2030 アジェンダ』
https://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/

添付資料：

【資料1】ワークシート①

私の大切なサーティ： _____

3- () 名前 _____

1、あなたはなぜ学校に行くの？

2、雪見を見て共通点、違いをさがそう！（紙に手とめよう！）

3、うちわからどんなことがわかる？どんなことが書いてある？

4、子パールにうちわが書いてどう思ったの？

5、世界の人たちと仲良くするためにゆげけることって何だろう？

【資料2】ワークシート②

私の異文化体験： _____

3- () 名前 _____

手で食べたり、はしを使ったり、フォークを使ったり…
食事の仕方一つとっても世界には様々な文化がある。



1、私が手で食べる姿を見て、現地の人から言われたのはなぜだろう？

2、ロールプレイをして、どんな表情をもちましたか？日さんの気持ちを考えよう！

場面①	場面②
-----	-----

3、日本にもたくさん外国の人が暮らしています。
私たちの住む地球には様々な国があります。
異文化の人と関わりあうことは大切なことだと思いませんか？



【資料3】ロールプレイ台本

場面①

A 何を使って、食べているの？

B 何って…お箸だよ。

A 食べにくい？しかも2本ないと食べられないんでしょう？

B そうだけど…

A しかも、それ、ちゃんと洗ってあるの？私たちは手をよく洗って食べるけど…

場面②

A 何を使って食べているの？

B 何って…お箸だよ。

A どうやって使うの？難しそう…

B こうやって持っんだよ。

A やってみてもいい？

【資料4】ワークシート③

昔に比べて変わったこと _____

3- () 名前 _____

*私の人生計画

	どこにいる？	何をしている？ （具体的に実現したことを書こう！！）
未成年		
5年後		
10年後		
20年後		

Q1. 外国で働いている日本人ってどんな人になる？
何をしている？どんな体験？どんなことを得意なアイズィをあげよう！

Q2. ビデオをみて感じたことを書こう！

【資料5】ワークシート④

私が望む世界： _____

3- () 名前 _____

*9月問題に思っていることはなんだろう？

私	日本	世界

パスポートを使った経験で考えたことは何だろう？～社会の一員としてできることは？～

今したいこと。	
5年後したいこと。	
10年後したいこと。	

*経験を通して「これは変わった！」と思うことの3つを！（1つだけでもいいです！）

- ①新しい国や文化に行ってみよう
- ②社会の発展に貢献してみよう
- ③英語がもっと話せるようになりたい
- ④異文化の人と関わりあってみよう
- ⑤海外旅行や留学について考えてみよう
- ⑥その他